

可児市公共施設等 マネジメント基本方針

(可児市公共施設等総合管理計画)



50年後の可児市のために今、できること

平成 27 年 3 月
可児市

ごあいさつ

本市は、これまで人口の増加と財政規模の拡大により順調に発展してまいりました。

そうした人口増や都市化の進展などに伴い、多くの公共施設やインフラを集中的に整備してきましたが、それらが年数を経て老朽化が始まり、今後一斉に建替えや等の更新を迎え、多くの費用が必要となってきます。

一方、人口は平成20年をピークに減少に転じ、平成24年には高齢化率は20%に達しました。このまま進むと、今までに経験したことのない人口減少と超少子高齢社会を迎えることとなります。

今後、財政事情は厳しさを増し、公共施設の現状維持が困難な時代となってくることも十分予測されます。

しかし私たちにはそれを乗り越え、今後も引き続き誰もが住みやすい環境を整えていく責務があります。

将来にわたり真に必要な市民サービスの提供を持続していくために、可児市の身の丈に合った公共施設のあり方や、効率的な管理運営や安全・安心に向けた計画づくりを進めていく必要があります。

こどもたちが郷土の自然・人の温もりに愛着を持って可児の未来を担ってくれることを願い、次世代への負担を少しでも減らし、効率的な行財政運営を目指すだけでなく、将来を見据え魅力的で求心力のあるまちづくりを行っていく事が「住みごこち一番 可児」につながっていく事だと考えています。



平成27年3月

可児市長 富田 成輝

目次

第1章	可児市の現状、将来の見通し及び課題	1
第1節	可児市公共施設等マネジメント基本方針の策定にあたって.....	1
第1項	策定の背景.....	1
第2項	公共施設等マネジメントの導入.....	2
	概念.....	2
	公共施設に関するマネジメントの考え方.....	2
	可児市公共施設等マネジメントの進め方.....	3
第3項	対象とする公共施設の分類（機能別分類）.....	4
第2節	対象施設の現況と課題.....	5
第1項	公共施設の現況.....	5
	施設の規模（延床面積）.....	5
	建設年次と累計延床面積の推移.....	23
	延床面積別の割合.....	24
第2項	公共施設の課題.....	25
第3項	インフラの現況.....	26
第4項	インフラの課題.....	27
第3節	人口動態.....	28
第1項	総人口及び年代別人口の推移・将来推計.....	28
	今後の人口推計.....	28
第2項	地区別人口.....	32
	地区別人口の変化.....	32
	地区別の年齢3区分別人口の変化（推計）.....	33
第4節	財政の現況.....	35
第1項	財政状況の変化.....	35
	普通会計の推移.....	35
	消費的経費の内訳の推移.....	36
	社会保障費の推移.....	37
第2項	可児市の市税推移.....	40
	市税推移と年代別人口の推移.....	40
	市税内訳の推移.....	41
第3項	可児市内の所得の推移.....	42
	市内所得の内訳推移.....	42
第5節	公共施設の更新・建替えにかかる費用の将来見通し.....	44
第1項	計画期間.....	44
	公共施設の耐用年数の考え方.....	44

	計画期間	44
第 2 項	公共施設の更新・建替えにかかる費用	45
	平成 26 年度から平成 75 年度の 50 年間に要する費用	45
	試算結果	46
	過去の実績と今後の見込み（公共施設）	47
第 3 項	充当財源見通しシミュレーション	48
	建替え等に係る経費に充当可能な財源（充当可能額）の見込み	48
	建替え等にかかる長期的な経費の見込みと充当可能額の見込みの比較	48
第 4 項	財政への影響	49
第 6 節	本章のまとめ	50
第 2 章	公共施設等の総合的かつ計画的な管理に関する基本的な方針	51
第 1 節	全庁的な取組体制の構築と情報管理・共有方策	51
第 1 項	取組体制	51
第 2 項	情報の一元化・共有化	51
第 2 節	現状や課題に関する基本認識	52
第 1 項	第 1 章で抽出された課題	52
第 3 節	公共施設等のあり方に関する基本的な考え方	53
第 1 項	基本理念	53
第 2 項	公共施設等の数量に関する数値目標	54
第 3 項	マネジメント推進についての基本的な考え方	56
第 4 項	実施方針	56
	建替えまでの 2 つの取り組みと耐震化	56
	建替え時の 3 つの方向性と民間活力の導入検討の実施方針	60
	戦略的な新規事業（サービス）の導入検討の実施方針	61
第 4 節	フォローアップ	62
第 1 項	今後のスキーム	62
第 2 項	情報の共有	63
	住民との情報共有	63
	職員研修	64

第3章 公共施設の分析	65
第3章の構成	65
義務教育施設（小学校・中学校）	69
図書館	82
可児郷土歴史館・陶芸苑・兼山歴史民俗資料館・荒川豊蔵資料館・三階倉	94
ばら教室 K A N I	108
学校給食センター	114
学校職員住宅	120
公民館	124
兼山生き生きプラザ	143
文化創造センター（ a l a ）	148
体育施設	156
市庁舎・総合会館・総合会館分室・水道庁舎	172
消防施設	181
エコドーム	187
多文化共生センター（フレビア）	191
水防センター	206
久々利・めぐみ・土田・兼山保育園、瀬田幼稚園	209
広見・帷子・桜ヶ丘児童センター、兼山児童館	230
こども発達支援センターくれよん	243
キッズクラブ	248
老人福祉センター 可児川苑・福寿苑・やすらぎ館	259
可児川苑・福寿苑・やすらぎ館 デイサービスセンター	271
福祉センター	277
勤労者総合福祉センター（ L ポート可児 ）	284
ふれあいの里可児	289
国民健康保険診療所	298
市営住宅	303
公共施設全体の今後 50 年間のライフサイクルコスト	310
第4章 インフラの分析	311
橋りょう	312
トンネル	317
歩道橋	318
道路	321
ため池	324
頭首工	327

上水道.....	333
下水道.....	340
インフラ全体の今後 50 年間のライフサイクルコスト.....	349

別添資料

「可児市公共施設白書」

「可児市公共施設等マネジメント基本方針って何だろう？」(マンガ版)